

# 東部教育事務所 学力向上の取組

## 「東部地区学力向上総合プロジェクト」10の事業

- 1 未来へつながる学びを支援する訪問
- 2 授業エキスパートを目指す授業研究会
- 3 英語教育に係る事業
- 4 重点支援（学力向上サポート）
- 5 学力向上プロジェクト教員の配置
- 6 「未来を生き抜く人財育成」学力保障スクラム事業
- 7 学力向上研究校指定事業
- 8 東部地区学力向上推進協議会
- 9 学力向上推進のためのホームページコンテンツの充実
- 10 優れた指導技術の共有・普及



# 本日紹介する内容

---

- ①未来へつながる学びを支援する訪問について
- ②授業エキスパートを目指す授業研究会について
- ③全国学力・学習状況調査を活用した授業改善動画について
- ④埼玉県学力・学習状況調査の活用について



# ①未来へつながる学びを支援する訪問

★各市町の課題に応じた教科で実施

★小学校1回、中学校（指導案検討＋授業研究会）2回

## 《参加者の感想から観られる教師の学びの視点》

- ・国の動向
- ・各市町の実態や課題の把握
- ・主体的・対話的で深い学びの授業改善の理解
- ・個別最適な学びと協働的な学びの理解
- ・教科の特性や小中の系統性
- ・教師の支援、発問、見取りなどの指導技術
- ・新たな発想や授業構想
- ・ねらいに迫るためのICTの活用

教師も「主体的・対話的で深い学び」を！  
ぜひ、積極的に御参加ください。



東部教育事務所HPに  
報告書を掲載しています。

未来へつながる学びを支援する訪問 報告  
数学 行田市立長野中学校

実施日 指導案検討 令和7年8月27日（木）  
授業研究会 令和7年9月11日（木）  
訪問者 指導主事 1705 佐本

### 指導案検討会

- 単元名  
文字を用いた式（第2学年）
- 本時の目標  
・文字式のよさを味わうことができる。  
《学びに向かう力、人間性等》  
・別々の考え方で、文字式に表し計算することによって式の形を簡潔に表せることができる。  
・正方形から条件を定めて様々な図形で文字式を作図することができる。  
《思考力、判断力、表現力等》
- 《授業者の思い・意図》  
・生活の中で数学と関わる時間を増やしたい！  
・「なぜ」「どうして」を共有する授業にしたい！  
→「正方形の問題」から条件を変えて発展的に問題をつくる活動を指定

### 授業デザイン改善のPOINT

- 課題（ゴール）の修正  
「式に表す」から「条件を変えて問題をつくる」へ
- 発展的な活動への変更  
「全員統一の活動」から「生徒が条件を変えて自由に問題をつくる活動」へ
- 個人で思考する時間の確保  
「グループでの問題作り」から「個人で自由に問題作りをする時間の確保」へ
- ICTにおける思考の共有  
「暗の代表の思考の共有」から「個人全員の思考の共有」へ
- 振り返りの視点の共有  
振り返りの視点を共有アプリを活用し配付

### 授業研究会

- 生徒の姿や今後の課題  
の具体例からの導入により学習意欲が高まった。  
の活動が「条件を変えて」発展的に発展する活動を取り入れたことで、解決の過程を取り回り、発展的に発展する機会となった。  
△活動が2つあり、時間のゆとりがなかったため、文字式に表すよさや両方の共有が少なかった。

### 参加者の声

- ・種々な意見を交わすことができたと思います。新しい視点に気付くことができました。1つの授業を考えるのに、別々の内容がとてた大切になるので各校でも教材研究に活かしたいと思いました。（指導案検討会：中学校教員）
- ・なかなか中学校の授業を見ることのないので、貴重な機会でした。小学校5年組と中学校の3年組の繋がりを意識して日頃の授業法をしていこうと思いました。（授業研究会：小学校教員）

### 授業者の声

- ・《指導案検討》：質問部分の進捗に不安を感じていたため、指導案検討会での意見交換により進捗が大幅に改善し、授業の進め方や時間配分にスムーズに授業を開始することができました。
- ・《授業研究会》：授業後の研究協議でも授業の内容や生徒への声かけ、導入や振り返りの時間の改善点等、質問一人では気付かなかったところを知ることができた。授業を取り組むことの大切さを学ぶことができました。
- ・《今後に向けて》：今後も数学的な思考力や表現力を育成する活動を取り入れ、生徒に数学の楽しさや必要性を身に付けてほしいです。

## ②授業エキスパートを目指す授業研究会について

### ★令和7年度実施教科

小学校【国語】

【外国語】

【生活】

中学校【社会】

【技術】

【道徳】

実施済み

2月18日（水）

実施済み

1月30日（金）

1月28日（水）

実施済み

### 東部教育事務所 令和7年度 授業エキスパートを目指す授業研究会

希望研修

授業力を高めたい！  
色々な教科や異校種の指導法を知りたい！  
東部管内の先生方の実践を聞きたい！

こんな先生におすすめ！

★授業日の1週間前に東部教育事務所HPに「指導案」、「私の授業の観てほしいポイント」をアップ  
① 授業観開をイメージ！  
② 授業者の思いをキャッチ！  
③ 自校で授業にチャレンジ！

校種	教科等	実施日	学校名	授業者	指導者
小学校	【国語】	令和7年11月11日(火)	加須市立加須小学校	小林 儀之	春日部市立上沖小学校 校長 佐藤 智恵
	【外国語】	令和8年2月18日(水)	八潮市立潮止小学校	勝田 奈緒	久喜市立久喜東中学校 校長 内山 真二
	【生活】	令和7年10月31日(金)	宮代町立笠原小学校	津久井 美紀	白岡市立白岡東小学校 校長 青木 春乃
中学校	【社会】	令和8年1月30日(金)	越谷市立平方中学校	井上 昌也	加須市立加須北中学校 校長 藤井 真仁
	【技術】	令和8年1月28日(水)	春日部市立春日部南中学校	伊藤 誠	越谷市立富士中学校 校長 浅川 直孝
	【道徳】	令和7年10月30日(木)	三郷市立南中学校	鈴木 将	蓮田市立黒浜西中学校 教頭 井野 祐治

昨年度の参加者の声より ※昨年度までの実践は、東部教育事務所のHPに掲載しています。

- 【小学校・音楽】鑑賞を音楽づくりの前に行ったのはよかったです。様々な呼びかけと言葉のかけがえがあるということを知り、子供たちが考えを広げられたのは効果的なやり方だと思いました。
- 【中学校・外国語】授業者と生徒間の活発なやり取りが非常に魅力的で、かつ英語による発話の量や質が豊富な授業で参考になりました。
- 【小学校・理科】単元を貫く問いを設定する授業は何度か行ってきましたが、なかなかうまくいかないことがありました。指導者の先生から話を伺い、問いを設定するポイントについて理解することができました。
- 【中学校・特別支援教育】本日の授業内容が単なる作業学習の授業ではなく、実際の就労をイメージした活動になっていました。自立活動やキャリア教育など様々なところに繋がって、教科等横断的な授業だと感じ、とても勉強になりました。
- 【中学校・特別活動】学級会の経験が積みあげられた生徒たちの行う学級会を参観することができてよかったです。出し合う、比べ合う、まとめるの合意形成の流れが明確な学級会でした。



「主体的・対話的で深い学び」の実現  
に向けた授業を提案します！



# ③全国学力・学習状況調査を活用した 授業改善動画について

★研修等でご活用  
ください。

2月上旬に事務連絡を発  
出いたします。

～未来へつながる学びを支援～

令和7年度  
全国学力・学習状況調査を  
活用した授業改善



埼玉県のマスコット「コバトン」がさいたまっしー

埼玉県教育局東部教育事務所  
学力向上推進担当 作成

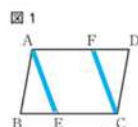
## 数学9 証明を振り返り、統合的・発展的に考察すること（平行四辺形）

中学校 数学

【出題の趣旨】図形の性質を考察する場面において、次のことができるかどうかをみる。

- ・解決の過程や結果を振り返り評価・改善すること
- ・統合的・発展的に考察すること
- ・筋道を立てて考え、事柄が成り立つ理由を説明すること

⑨ 右の図1のように、平行四辺形ABCDの  
辺BC、DA上に、 $BE = DF$ となる点E、F  
をそれぞれとります。  
このとき、四角形AECFは平行四辺形に  
なります。このことは、次のように証明で  
きます。



証明1

平行四辺形の向かい合う辺は平行だから、  
 $AD \parallel BC$   
よって、 $AF \parallel EC$  ……①  
平行四辺形の向かい合う辺は等しいから、  
 $AD = BC$  ……②  
仮定より、  
 $DF = BE$  ……③

②、③より、  
 $AD - DF = BC - BE$  ……④

④より、  
 $AF = EC$  ……⑤

①、⑤より、  
1組の向かい合う辺が平行でその長さが等しいから、  
四角形AECFは平行四辺形である。

(1) 新たに分かる辺や角の関係を見いだす（全国正答率58.8%）

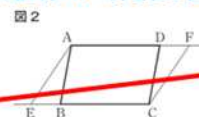
★新たにわかることを選ぶ

ア  $BE = DF$  イ  $AF = EC$

ウ  $AE = FC$  エ  $AB = DC$

(2) 条件を変えた場合の証明（全国正答率37.0%）

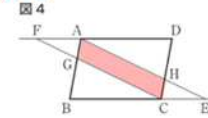
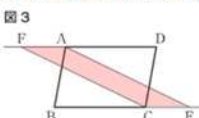
★証明1の一部を書き直す



②、③より、  
 $AD + DF = BC + BE$  ……④

(3) 方針を立て、証明する（全国正答率33.8%）

★図3の証明2を振り返り、図4の図形を証明する



# ④埼玉県学力・学習状況調査の活用について

○発表資料内における埼玉県学力・学習状況調査を活用している場面

各種帳票を活用した実態把握

2・研究校への支援

4 再編成3校の学力の現状について強み弱みの分析・方針検討

5 年 生

学校ごと児童の特性を分析

3校合わせた学力の様子

2. 主題設定の理由 ※R7年度 埼玉県学力・学習状況調査（帳票40）より

4年生

国語	算数	理科	社会	英語	総合	道徳	体育	音楽	美術	保健	生活	家庭	職業	総合	平均
5-A (15)	4.1	3.6	3.7	3.6	3.9	3.9	3.7	3.9	3.7	3.9	3.7	3.9	3.7	3.9	3.7
5-B (14)	4.2	3.8	3.8	3.6	4.1	3.9	3.8	4.0	3.9	3.8	4.0	3.9	3.8	4.0	3.9

5年生

国語	算数	理科	社会	英語	総合	道徳	体育	音楽	美術	保健	生活	家庭	職業	総合	平均
6-A (18)	3.9	3.5	3.5	3.5	3.7	3.7	3.4	3.9	3.7	3.4	3.9	3.7	3.4	3.9	3.7
6-B (17)	4.1	3.6	3.7	3.4	4.0	3.8	3.6	4.0	3.8	3.6	4.0	3.8	3.6	4.0	3.8

6年生

国語	算数	理科	社会	英語	総合	道徳	体育	音楽	美術	保健	生活	家庭	職業	総合	平均
7-A (21)	4.2	3.6	3.7	3.5	3.8	4.0	3.4	4.0	3.8	3.6	4.0	3.8	3.6	4.0	3.8
7-C (19)	4.1	3.7	3.7	3.4	4.0	3.8	3.6	3.9	3.8	3.6	3.9	3.8	3.6	3.9	3.8

本校の特徴

●学力も高いし、伸ばしている

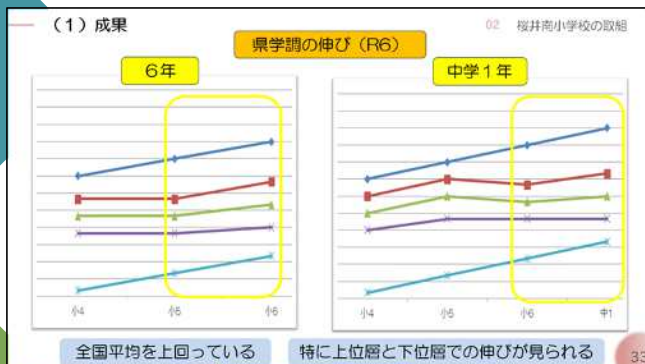
▲本人は「できる」と思っていない

研究の実践3

その他「努力調整方略」関連の研究・研修

1. 「帳票40」を活用した研修

一人一人の変容や伸びの分析



2年目の取組(全校)

3 県学調 子どもの結果の分析

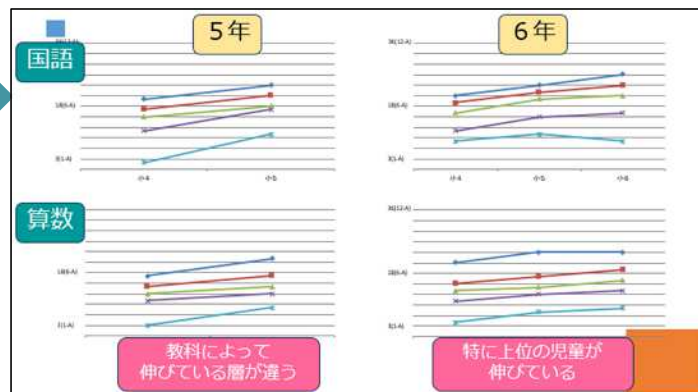
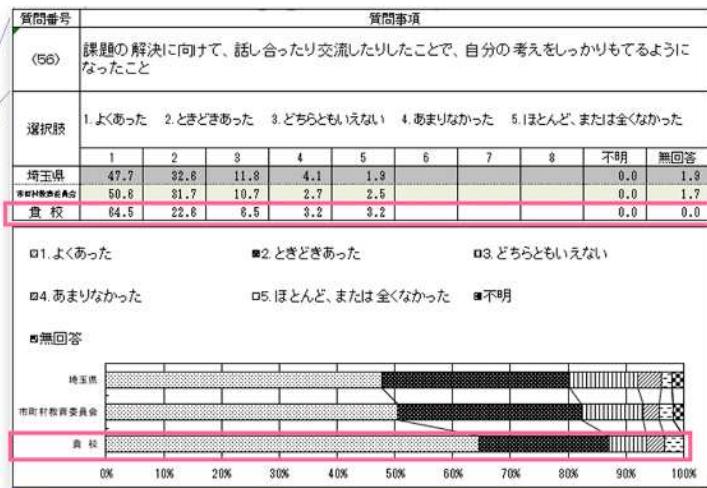
自分の得意と苦手を知り、日々の学習に生かす

里西小学校

- ・結果を分析し、『各帳票』を活用することで、自校の強み、弱みを適切に把握し、授業改善に生かしている。
- ・一人一人の変容や伸びを分析し、授業改善に生かしている。

# ④埼玉県学力・学習状況調査の活用について

○東部教育事務所において（学校訪問等での支援）





## ④学力を伸ばしている学校（県学調）の取組の紹介

### ★児童生徒の学びの視点

- 必要に迫られた対話
- 心理的安全性の高い集団
- 基礎・基本の定着

A校 「切り返しの発問」によって**生徒に疑問をもたせたり、深く考えさせたり**することを意識している。

B校 生徒間の人間関係、生徒と教師の関係がよく、生徒が学びに向かう意欲が高い。また、協働的な学びにおいて、生徒が自分の考えを**安心して言い合える環境**ができている。

C校 基礎的・基本的な学力の定着を図るため、授業の冒頭を使って**帯活動**（国語：四字熟語、数学：計算、英語：英作文など）を年間を通じて行っている。



## ④学力を伸ばしている学校（県学調）の取組の紹介

### ★教師の学びの視点

- 相互授業参観
- 研修体制の工夫
- 小中連携

D校 **相互授業参観**を行い、仲間の助言を自身の授業に生かしている。「相互授業参観シート」を活用し、授業者の授業のポイントを事前に把握した上で授業を参観し、授業後に授業者へフィードバックしている。

E校 **ビデオカンファレンス**を行い、授業力向上を図っている。教科の枠を超えてチームを編成し、代表授業者の授業の様子をビデオ撮影したものを基に、授業のポイント解説やグループ協議を行っている。

F校 中3英語については、生徒の実態に応じ、かみ砕いた説明を意識した。先生方には**小学校の外国語活動の授業から学ぶ**ことを意識させた。

御清聴ありがとうございました。

---



コバトン